

航空機運航のDX推進に向けた検討会の今後の進め方

今後の議論を踏まえながら以下のイメージで検討を実施。

フェーズ1：DX推進に対する共通認識構築、課題・要望の洗い出し

＜第1回検討会：9月第4週 9/21(火)＞

➤ 検討会の趣旨、現状認識、SWIMの概要(導入によるBefore & After)等を説明

＜第2回～4回検討会：年内＞

➤ 検討会出席者からの取組発表、質疑・意見交換を実施

第2回：(空港)デジタル情報を活用した空港運営効率化の取組

第3回：(運航者)デジタル情報を活用した航空機運航の効率化促進に関する取組

第4回：(新たな情報利活用者等)航空機運航に係るデジタル情報の活用構想について

【データ共有・活用にあたっての課題、対応イメージを意識しながら進める】

※出席者との調整に応じて適宜追加開催も検討

＜個別ヒアリング：11～12月適宜実施＞

フェーズ2：DX推進に対する課題・要望の精査、対応方針の策定、実行

＜年度内＞

➤ 聴取した意見を総括し、取組を加速させるために必要な方策案を整理

✓ SWIMの運用開始(2024年)に向けた仕込みとして、2021～2023年度でどのように取り組んでいくかも意識

✓ 個別データの共有については、情報取り扱い等の方針を検討(セキュリティ・ガバナンス含む)

＜2022年度以降＞

➤ 今年度の議論を土台として、DX推進に関する方向性および進め方について検討会にて合意し、取組を継続